No.151
2026・11/1

へきなん 議会だより

令和８年８月市議会臨時会
９月市議会定例会

□審議された議案等――――2～ 3
□市政を問う・一般質問――4～11
□議会の窓――――――――――12

碧南市議会HPへ


4歳児「どんどん道がつながるね」


4歳児「試してみよう！何色になるかな？」


3歳児「おいしいピザになぁれ！」


3歳児「夏祭り。どの景品がいいかなぁ」


3歳児「魚がたくさん釣れるかな」


5歳児「みんなで食べるとおいしいね♡」


5歳児「サークルタイム。いろいろな意見がでてくるね」

テーマ：「碧南の未来を担う子どもたち」
～ 笑顔あふれる鷲塚保育園～

碧南市水道事業給水条例の一部を改正する条例の議案1件を審議

令和８年８月市議会臨時会を８月10日に会期１日間で開会しました。市長の招集あいさつに続き、条例議案１件を審議しました。議案は、次のとおりです。

８月 市議会臨時会 議案

条例

●碧南市水道事業給水条例の一部を改正する条例

(1)水道事業建設改良工事分担金の改定

(2)水道料金の改定

８月市議会臨時会で審議された議案の審議結果

議案の内容		採決結果	心政会								みらい市民クラブ					公明党		翔政会		会派に属さない議員			
			小林	生田綱	磯貝	生田悠	中西	髙木	藤浦	林田	鈴木	石川	杉浦	藤田	神谷	加藤	大竹	祢宜田	森下	山口	長崎	岩月	生田充
条例	碧南市水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	×	×

○…賛成、×…反対、※…議長のため、採決に加わらず

令和7年度決算認定など議案等16件と、陳情１件を審議

令和８年９月市議会定例会は、９月２日から９月18日まで、17日間の会期で開会しました。会期中に同意議案１件、条例議案２件、補正予算議案３件、認定議案８件、報告案件１件、提出案件１件の合計16件を審議しました。また、陳情１件を審査しました。議案等は、次のとおりです。

９月 市議会定例会 議案

同意

●碧南市教育委員会委員の選任について

現委員の大村幸氏が、令和８年９月30日をもって任期満了となり、同氏を再び選任することに同意した。

条例

●碧南市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

引用条項の改正

●碧南市いじめの防止等のための組織に関する条例の一部を改正する条例

(1)臨時委員に係る規定の追加

(2)部会に係る規定の追加

(3)字句の整理

補正予算

●令和８年度碧南市一般会計補正予算(第２号)

●令和８年度碧南市一般会計補正予算(第３号)

●令和８年度碧南市介護保険特別会計補正予算(第２号)

認定

●令和７年度碧南市一般会計歳入歳出決算の認定について

●令和７年度碧南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

●令和７年度碧南市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の認定について

●令和７年度碧南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

●令和７年度碧南市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について

●令和７年度碧南市水道事業会計決算の認定について

●令和７年度碧南市下水道事業会計決算の認定について

●令和７年度碧南市病院事業会計決算の認定について

報告

●令和７年度碧南市健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について



提出

●株式会社ヘキナンシティカンパニーの経営状況及び清算結了について

陳情

●「新たな『定数改善計画』の確実な実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情（不採択）

９月市議会定例会に上程された議案等の審議結果

	議案等の内容	採決結果	心政会								みらい市民クラブ					公明党		翔政会		会派に属さない議員			
			小林	生田綱	磯貝	生田悠	中西	髙木	藤浦	林田	鈴木	石川	杉浦	藤田	神谷	加藤	大竹	祢宜田	森下	山口	長﨑	岩月	生田充
同意	碧南市教育委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
条例	碧南市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
条例	碧南市いじめの防止等のための組織に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	令和８年度碧南市一般会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○
補正予算	令和８年度碧南市一般会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	令和８年度碧南市介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
認定	令和７年度碧南市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	○
認定	令和７年度碧南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○
認定	令和７年度碧南市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
認定	令和７年度碧南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○
認定	令和７年度碧南市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○
認定	令和７年度碧南市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○
認定	令和７年度碧南市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○
認定	令和７年度碧南市病院事業会計決算の認定について	不認定	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○		○	○	×	×	×	×	×	○

※

○…賛成、×…反対、※…議長のため、採決に加わらず



市政を問う

9月市議会定例会一般質問

9月定例会では、9月2日、3日、4日の3日間、13人の議員が一般質問を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

詳細は、碧南市議会ホームページ内の「インターネット中継」「市議会会議録」又は、市民図書館に配布する「9月市議会定例会会議録」(11月下旬発行予定)をご覧ください。

また、右記の2次元コードから議会中継のページにアクセスできます。

▲碧南市議会中継へ

質問者と質問事項

9月定例会一般質問

第1日

第2日

第3日

第1日

岩月　ひろし(みどりクラブ)
①ごみ処理及びごみ収集行政について
②市長のオーガニック給食への認識について

磯貝　忠通(心政会)
①財政非常事態宣言の功罪について

森下　敏弥(翔政会)
①緊急行財政対策の進捗について
②市民病院緊急経営対策の進捗について
③ごみ袋有料化について

藤田　宇哉(みらい市民クラブ)
①実効性ある災害対応体制の確保について

林田　かなめ(心政会)
①こどものインフルエンザ対策について　～学級閉鎖にともなう学力低下、経済的損失を問う～
②児童・生徒のDX対応について　～GIGAスクール構想の推進と課題を問う～

第2日

長﨑　章浩(碧南維新の会)
①生成AI時代における情報モラル教育と犯罪被害防止教育について

山口　春美(日本共産党碧南市会議員団)
①市民への負担強化でない財政確保を
②教育問題について
③加齢性難聴者への補聴器補助制度を

大竹　敦子(公明党)
①防災減災対策の充実について

加藤　厚雄(公明党)
①障がい者等の「18歳の壁」解消支援について

第3日

髙木　洋和(心政会)
①碧南市民病院について
②碧南市の農業について

生田　充夫(碧南市民の会)
①ICF(国際生活機能分類)を活用した支援の取組について

祢宜田　拓治(翔政会)
①骨太の方針と碧南市政について

中西　里江(心政会)
①5歳児健診の重要性と就学に向けた切れ目のない支援について
②社会教育関係団体の減免制度の見直しについて



みどりクラブ
岩月　ひろし

ごみ処理及びごみ収集行政について

問　衣浦衛生組合における家庭系一般廃棄物処理手数料改定の検討段階において、碧南市の対応は。

答　衣浦衛生組合では基本方針に基づき、概ね5年ごとに使用料等を見直しているが、令和元年度の見直しは、クリーンセンターの火災事故や新型コロナ拡大により見送られていた。令和7年2月14日の会議にて、以下のことについて意見を述べ、高浜市と合意した。「事業系ごみの使用料改定については令和7年3月に改定を行う。一般家庭ごみの使用料改定については、市民への影響があるため、慎重に検討し、令和7年度に碧南市が予定している使用料全体の見直し時期と合わせて検討する。近隣自治体の動向把握や、定期的な使用料の見直しを、しっかり行うよう求めた。」

問　今回の手数料改定により、クリーンセンター衣浦の収入はどの程度増加すると見込まれているか。

答　衣浦衛生組合によると、1年当たり約1300万円の歳入増を見込んでいるとの報告を受けている。

問　粗大ごみ収集について、今後も現行の無料収集を維持する考えなのか。それとも、粗大ごみ収集の廃止、有料化、収集回数の縮小など検討しているのか。

答　現在、検討していない。



▲クリーンセンター衣浦での料金改定告知看板



心政会
磯貝　忠通

財政非常事態宣言の功罪について

問　職員の採用や退職に変化はないか。

答　令和8年度の採用試験では、4名の募集に対し120名の応募があった。退職者は例年並みで推移しており、変化はない。

問　運営費の高騰と市民サービスの維持の両立を図るため、藤井達吉現代美術館・碧南海浜水族館の入場料に市内・市外別二重価格制度は考えられないか。

答　施設のイメージ低下及び来館者数の減少が心配されるため、考えていない。

問　若い人が流入してこないと聞くが、宣言後の動向に変化はないか。

答　20歳から39歳までの人口は緩やかな減少傾向にあるが、以前からの傾向であり変化はない。

問　公共工事が減っているが、建設投資の対令和7年度比率は。

答　普通建設費に関する予算額は、前年度比45・2％減、金額として10億8千万円余の減である。

問　少子化に伴い、小中学校の9年間を同じ校舎で学ぶ義務教育学校への再編の考えはないか。

答　現在のところ具体的に検討はしていないが、将来的には重要な選択肢の一つとして視野に入れ、検討を進めていきたい。

問　アジア競技大会終了後閉館の衣浦港湾会館はどうなるのか。

答　現時点では具体的な結論は出ていないが、愛知県と有効な活用を検討していきたい。



▲宣言後、大幅削減の公共工事



翔政会
森下　敏弥

緊急行財政対策の進捗について

問 **改善額20億6600万円のうち継続的な財政改善額は。**

答 延期・凍結11億3500万円を除く9億3100万円。

問 **公共施設1割削減はどのような基準と日程で進めるのか。**

答 同一目的施設の有無などを基準に検討し、令和9年3月に確定した計画を公表する。

市民病院緊急経営対策について

問 **全収支改善効果額8億2300万円の現在の見込み額は。**

答 6億5千万円余を見込む。計画に対し1億7千万円余減少。

問 **今年度末の経常損益予想は。**

答 7月までの実績から14億1千万円余の赤字の見込み。

問 **病床利用率は6.6%上昇したが、収益減少の理由は。**

答 医業収益では新規入院数や外来患者数の減少。医業費用では人件費増加の影響が大きい。

問 **西尾市民病院では専門家を交えた経営形態検討会が設置された。碧南市も設置を望むが。**

答 市民病院の経営状況はそのような検討を終えてから対応する状況にないので設置しない。

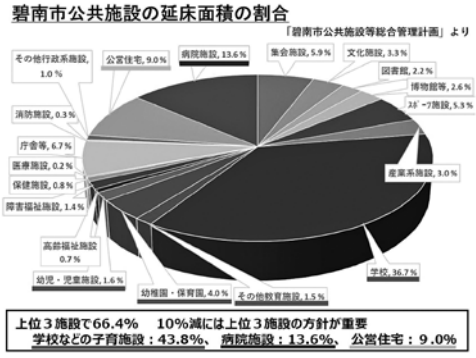
ごみ袋有料化について

問 **実質的な財政改善効果額は。**

答 歳入・経費を差し引いた正味の改善効果は約782万円。

問 **値上げ等の制度変化時に買いだめの在庫不足を心配するが。**

答 令和9年度の新しいごみ袋には使用期限を明記。3年後の値上げ時には再度デザインを変更し買いだめ防止を図る。



▲碧南市公共施設の延床面積の割合



みらい市民クラブ
藤田　宇哉

災害対応体制の実効性について

問 **指定避難所の収容人数を上回る避難者が発生した場合、どのように対応するのか。**

答 学校の体育館での避難生活が困難な場合、学校長と協議のうえ、特別教室や空き教室などを開放すると、7240人を追加可能。また、追加受入人数には含まないが、棚尾公民館など避難所指定を廃止した施設も、安全を確認できれば、避難所として活用を検討する。

問 **在宅避難や車中泊避難を選んだ人は、物資や情報などの支援をどのように受けるのか。**

答 指定避難所以外で避難生活を送る場合も、指定避難所で避難者名簿への登録をお願いする。登録することで、物資の配給や健康相談、災害情報の提供などを受けることができ、指定避難所を支援の拠点として活用してもらう。

問 **107件ある災害協定は、発災時に実際に機能する状態になっているのか。今後の課題は。**

答 自治体間では衛星電話を活用した通信訓練を行い、関係機関とは防災ヘリの夜間離着陸訓練等を実施している。民間企業とは総合防災訓練などを通じ、顔の見える関係づくりに努めている一方、締結後に訓練等を実施していない協定先もあり、連携をさらに深めることを課題と認識している。今後も協定の内容や運用方法を確認し、実効性の向上に努める。



▲関係機関による防災ヘリの訓練



心政会
林田　かなめ

こどものインフルエンザ対策について～学級閉鎖にともなう学力低下、経済的損失を問う～

問 **学級閉鎖の法的基準は。**

答 法的基準はないため学校単位で状況を判断している。

問 **学級閉鎖による学力低下の可能性、対策は。**

答 閉鎖期間は短いため学力低下への影響は少ない。

問 **学級閉鎖による保護者への対応は。**

答 あらゆる連絡手段を用いて正確な情報の提供に努めている。

児童・生徒のDX対応について～GIGAスクール構想の推進と課題を問う～

問 **海外のデジタル教育推進において先進国の一部では、読解力の低下などが見られることから従前の紙ベースでの教育に回帰しているケースもある。拙速なDX推進の弊害を現しており、目的と手段を誤ることの実害は児童生徒らが被ることとなると考えられる。碧南市のデジタル教育推進における目的と手段についてどのように考えているか。**

答 情報端末を活用することはあくまで手段であり、国の方針に則り情報活用能力の育成を推進する体制づくりを進めている。児童生徒らの情報活用能力を活かした他者との対話を通しての深い学びの実現を目指し、そのために教師自らが実践研究を通じた成果を市全体で共有し、児童生徒らの学びの環境を充実させていきたい。



▲みんなで予防 インフルエンザ



碧南維新の会
長﨑　章浩

生成AI時代における情報モラル教育と犯罪被害防止教育について

問 **令和8年度から小中学校へ導入された新たなネットモラル教材の特徴と運用は。**

答 具体的なトラブル事例をアニメで提示し「自ら判断し行動する力」を育む教材を導入した。共通理解を深めるため今年度は全校で年間3事例を共通実践し、今後は各校の実情に応じ柔軟に選択・活用していく。

問 **生成AI時代に対応した情報モラル教育やSNS犯罪被害防止の指導現状は。**

答 現在、児童生徒の生成AI利用は認めず教員研修を実施している。生徒へはスマホ教室等で偽情報の拡散や真偽を見極める重要性、個人情報の保護について継続指導している。

問 **社会問題化している「闇バイト」の危険性や対処法についての具体的な指導は。**

答 注意喚起や窓口紹介を実施している。限られた指導時間の中で効果的な指導方法を模索しつつ、今後は警察とも連携し実際の勧誘事例等を想定した実践的取り組みを進めていく。

問 **情報モラルや犯罪被害防止に関する、保護者への啓発の拡充・改善状況は。**

答 全校で啓発内容を更新し生成AIや闇バイト対策も導入。県警の注意喚起資料を保護者連絡アプリで配信するなど多角的周知に取り組む。



▲令和８年度導入の新たな情報モラル教材



日本共産党
碧南市会議員団
山口　春美

財政非常事態宣言の撤回を

問 資本金1億円超の企業に法人市民税率8.4％にすると令和6年度で15億円。7年度は5億円の増収が見込める。全国8割が実施している。市民負担強化ではない確実な税収確保として実施すべきでは。

答 現時点で標準税率以上に引き上げることは考えていない。

教育について

問 学校体育館空調設置の完了が6年後となっている。熊本地震の教訓からも知立市のリース方式も検討し早期実施を。再エネ化のため太陽光発電設置を。

答 前倒しはむずかしい。

問 中学生給食費無償化を令和9年度に予算化しなければ公約違反となるが、他市の状況は。

答 令和8年度当初予算で中学校生徒の賄材料費は1億3900万円余。全国712自治体、県内17。西三河で豊田、安城、みよし市が実施している。

問 図書館中部分館廃止の議決はしていない。予算カットや民間活用は民主主義違反では。

答 民間から2件応募があり㈱ネットアーツに決定した。廃止の議案が可決されたら進める。

加齢性難聴者への補聴器補助を

問 認知症予防に効果ありと国の交付金措置もされた。これらも活用し補聴器補助の実施を。

答 補助は県内35自治体が実施。西三河で碧南、高浜、岡崎市はない。補聴器補助は交付金の対象外で、実施は考えていない。



▲コンパクトになった補聴器



公明党
大竹　敦子

防災・減災対策の充実について

問 大規模災害時、外部からの応援職員をすぐに受け入れ、非常時優先業務等を実施できる体制を整備する「受援計画」は策定されているか。

答 現在、受援計画の策定に向けた調査研究を始めている。

問 被災者の生活再建に必要な罹災証明書の申請にオンライン申請を導入してはどうか。

答 本市でも、マイナンバーカードを利用して、マイナポータルからオンライン申請できるよう対応していく予定である。

問 想定する避難者に対して避難所のテント、エアーベッドは不足している。この不足に対する今後の取り組みは。

答 テント、エアーベッド等を一律に整備することは費用面、保管場所等の確保から難しい。各家庭で平時から使用している物を避難所でも活用してほしい。

問 現在のトイレの整備状況と今後の取り組みは。

答 国の指針を踏まえ、既設・携帯・簡易・マンホールトイレ等を組み合わせて必要なトイレを確保できる体制を整備する。

問 更なる避難所の環境整備に向けて、キッチンカー、トイレトレーラー、ランドリーカー等を迅速に提供するため、事前登録制度を活用してはどうか。

答 市ではこのような車両を所有していない。災害時に活用することは有効と考える。利用できれば利用していきたい。



▲災害時に活躍するトイレトレーラー



公明党
加藤　厚雄

障がい者等の「18歳の壁」解消支援について

問　本年7月に、「医療的ケア児等及び重症心身障害者並びにそれらの家族に対する支援に関する法律」の改正法が成立した。認識と市民の当事者概数は。

答　基本理念が充実され「18歳の壁」をはじめとする課題に対し、切れ目のない支援を推進するための重要な一歩である。医療的ケア児が21名で医療的ケア者が9名、重症心身障害者が39名、うち重複8名。

問　支援の受け皿拡充は。

答　令和8年4月より医療的ケアを必要とする市内の小中学生を対象に学校へ訪問看護師を派遣する事業がスタートしている。

問　18歳以降を見据えた相談体制や就労・日中活動の確保は。

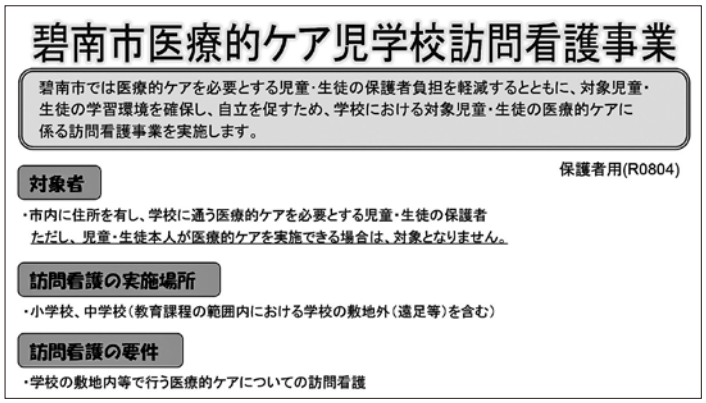
答　就労選択支援事業を始め、相談支援センター等を中心とした伴走型の相談支援体制を行い、心身障害者福祉センターで実施している生涯学習等の事業の対象となるよう調整する。

問　在宅での夜間ケアを支える医療・福祉サービスの提供は。

答　医療的ケアに対応可能なショートステイ施設は県内に26か所で市内には施設はなく近いところで西尾市にある。

問　碧南市内のショートステイ整備の対策は。

答　財政面、人材確保の面でも難しい。夜間支援としては、基幹相談支援センターで24時間電話相談窓口を設けている。



▲医療的ケア児学校訪問看護事業



心政会
髙木　洋和

碧南市民病院について

問　医療費未払いの件数と金額は。

答　令和7年度分までの未収金が765件、金額にして1552万円余、別に、令和8年度4月から6月末までの未収件数は46件、金額にして157万円余。

問　医療費未払い者への対応と費用は。

答　医事業務業者や弁護士事務所へ委託し電話や文書による督促など専門的な対応、患者がお亡くなりになっている場合には、相続人を確認するため、戸籍等の公用請求を行い、相続人への請求など必要な手続きを適切に進めている。回収業務の費用は、令和7年度実績で54万円余。

碧南市の農業について

問　碧南市のブランド野菜の定義と現状は。

答　ブランド野菜とは、行政が一方的に指定するものではなく、一定の農家や地域などの声を受けて、JA等の組織を中心としてブランド化を進めていくものであると認識している。農産物のブランド化やそのPRについては、農家やJA等と相談しながら、市としても積極的に進めている。

問　碧南市として名称や品種を含め保護するための取り組みは。

答　ブランド力向上や生産者の利益保護は重要な課題であると認識している。今後も国や県、関係機関と連携し、品種登録制度やGI保護制度などの情報収集に努める。


▲へきなん美人（市HPより）



碧南市民の会
生田　充夫

ICF（国際生活機能分類）を活用した支援の取組について

問　発達支援におけるICFの取り組みは。

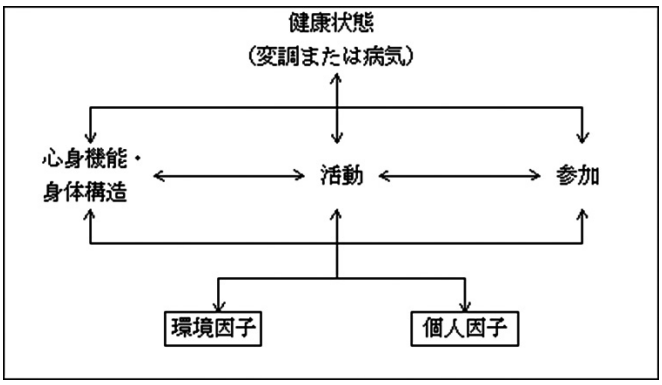
答　ICF情報把握・共有システムを活用し、切れ目のない効果的な療育支援を行っている。その効果は、支援者のスキルの向上、家庭・教育・福祉の連携、保護者の安心感が挙げられる。また、子どもの姿を環境や関わり方とセットで捉えるICFの考え方を、まず園を中心に普及させている。今後、訪問支援等で、さらに考え方の浸透を図る。

問　学校現場でのICFの取り組みは。

答　ICFにおける環境調整支援を取り入れた児童生徒資料を学校が作成し、臨床心理相談員に提供し、相談活動を行っている。また、特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実を図るため、臨床心理相談員によるコンサルテーション事業、こども課発達支援係による学校巡回支援を行っている。

問　介護現場及び障害福祉でのICFの取り組みは。

答　介護分野ではICFの概念を取り入れた様式を使用した、自立支援型カンファレンスを行っている。障害福祉ではICFの枠組みを意識し、障害者相談支援事業を行っている。社会福祉協議会では専門の職員による、生活機能の把握や支援計画作成にICFの考えを取り入れ、支援を進めている。



▲ICFモデル図（厚生労働省HPより）



翔政会
祢宜田　拓治

骨太の方針と碧南市政について

問　強い経済と財政の持続可能性を掲げる「骨太の方針2026」を市政推進に活かせないか。

答　方針では、AI・半導体、GX・エネルギー、防災・減災を始めとする17の戦略分野への成長につながる投資などが掲げられている。国の政策動向や社会経済情勢を的確に把握し、市政運営に活かしていきたい。

問　本市に必要な施策は。

答　本市の特徴である港湾機能については、アンモニアへの燃料転換によるGX推進や物流・産業を支える基盤としての可能性、製造現場における生産性向上や人手不足対応にフィジカルAI等を注視していきたい。

医療については、2040年を見据えた病床数の適正化や医療機関の連携・再編等の国の動向も踏まえ、市民に必要な医療を将来にわたってどのように確保していくか等、今後の医療提供体制の在り方を検討していく。

問　2040年を見据えてという段階ではなく、今すぐでも市長自ら経営改善の先進地を視察するなり、病院立て直しの専門家を招聘して検討委員会を設置し、独立行政法人化等経営形態の変更をすべきでは。

答　引き続き市民病院緊急経営対策会議で検討していきたい。

問　市の事業推進の優先順位は。

答　選択と集中で、削るべきは削り、守るべきは守り、未来につながるものに投資していく。



▲経営改善を全力で目指す碧南市民病院



心政会
中西　里江

5歳児健診の重要性と就学に向けた切れ目のない支援について

問　本市における5歳児健診の本格実施に向けた検討状況は。

答　令和7年度より関係課と実施の有無を含めて検討を始めた。市の状況を考慮し、先進自治体や近隣市の事例を参考にしたい。

問　本市の発達相談「こっこ」への相談状況は。

答　直近5年間で相談件数は約3倍に増えており、最近では小学生の相談が増加している。より早い段階で相談へつなぎ、子供の特性に合った支援を行う必要性を改めて感じている。

問　就学に向けた支援体制は。

答　専門職による就園観察や各課との連携により、園児の発達や生活面の状況を把握し、得られた情報を関係機関と共有して就学支援へつなげている。

社会教育関係団体の減免制度の見直しについて

問　新制度についての方向性は。

答　市民の文化・スポーツ振興を目的とし、文化協会・スポーツ協会などの公共的団体や子供の団体を対象に、現行同様の施設使用料半額減免を行う予定。

問　対象団体数の見込みは。

答　今年度の支援対象団体は308団体。来年度以降の対象団体は約100団体となる見込み。

問　新制度による影響は。

答　新制度対象団体は、今まで通り活動できる見込みだが、来年度以降に対象外となる団体の活動回数の減少が懸念される。



▲こども家庭庁の５歳児健診ポータルサイト

傍聴者の声

碧南市議会では、市民の「声」に広く耳を傾け、議会の活性化に役立てることを目的として、議会を傍聴された方を対象に、アンケートを実施しております。

9月定例会では、本会議5日間で延べ73名が傍聴にお越しいただき、そのうち延べ70名から回答をいただきました。

今回は次のようなご意見、ご感想が寄せられました。

（40代・女性）

良い学び場でした。ずーっと碧南市に住んでいますが、知らないこと、考えたことのないことばかり。市長、市役所職員さん、市会議員さんのおかげで碧南市があること、改めて感じました。

非常事態宣言には、正直びっくりしました。

ありがとうございました。

（50代・男性）

今回の熊本地震に対して碧南市に足りないものは？

市民の防災意識を高める活動は良いことなので継続していってほしい。いろいろ議論してくれていました。やっぱり心配なのは避難所の環境や高齢者の避難支援を誰がやるなど、さらに充実してほしい。共感できた。

ショートステイ施設、場所、人員の確保が必要。

（70代・男性）

ＩＣＦについて初めて耳にしたが、担当部署の対応をうかがって、一人一人に寄り添って、どの場所・時間に子供が変わるかを観察し、その子に合った育て方をしていくか、とても難しい問題だと考える。未来を担う子供たちを碧南市全員で見守り、社会に入れる支援をしてほしい。

議会を傍聴しましょう

受付にて一般傍聴券に住所と氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

議会の窓

アジア競技大会聖火リレーゴールセレブレーション

▼とき
令和8年9月6日(日)

▼ところ
碧南市臨海公園



▲ゴールセレブレーションの様子

アジア競技大会の聖火が碧南市にやってきました。大会を盛り上げるゴールセレブレーションには神谷議長が参加しました。



▲沿道に手を振るへきなん広報大使　中村優花さん



▲聖火ランナーを応援

令和8年熊本地震の災害見舞金を贈りました

▼とき
令和8年8月26日(水)

大きな被害を受けた熊本県に対し、各議員から募金を集め、合計21万円を熊本県が開設した口座に振り込みました。

被災された方々やご関係の方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、少しずつでも前を向いていけるようお祈りいたします。

碧南市議会政治倫理審査会を開催

政治資金規正法に規定する収支報告書について、審査対象となった山口春美議員の後援会が複数回にわたり未提出であった事実が発覚したことに伴い、政治倫理審査会の開催申し立てがありました。3回の審査を経て政治倫理違反の認定をし、措置として、文書による警告及び議会だよりへの掲載を決定しました。

12月市議会定例会 12月2日(水)開会予定

第1日は、12月2日(水)午前10時に開会します。会期は12月17日(木)まで16日間を予定しています。

※会議日程は左記のとおり予定しておりますが、正式には議会運営委員会で決定いたします。

12月市議会定例会の予定

11月20日(金)	議会運営委員会
12月2日(水)	本会議第1日(一般質問)
3日(木)	本会議第2日(一般質問)
4日(金)	本会議第3日(一般質問)
8日(火)	本会議第4日(議案上程等)
	予算審査特別委員会
9日(水)	総務文教委員会
	総務文教分科会
10日(木)	福祉健康委員会
	福祉健康分科会
11日(金)	経済建設委員会
	経済建設分科会
15日(火)	予算審査特別委員会
	議会運営委員会
17日(木)	本会議第5日

12月定例会での一般質問の様子は、「碧南市議会ホームページ内のインターネット中継」又は、「キャッチネットワーク(地上デジタル112ch)」で下記の日時に視聴できます。

12月8日放映(12月2日分)
12月14日放映(12月3日分)
12月16日放映(12月4日分)
いずれも午前10時から予定。

発行　碧南市議会　〒447-8601　碧南市松本町28番地　電話　0566-95-9919(直通)　FAX　0566-41-9900
ホームページ　http://www.city.hekinan.aichi.jp/GIKAI
※紙面に対するご意見をお寄せください。

VEGETABLE OIL INK